

副会長

岩崎 泰司

富小 PTA の改革（現状調査と課題の抽出）

I. 目的

富小 PTA（以下、本会という）のこれまでの振り返りと現状調査によって、本会の課題を抽出する。

II. 課題の抽出（結果）

現状調査の結果、抽出した課題を下表にまとめた。

分類	調査項目	抽出した課題
組織運営	1 会員数	本会の会員数は現状の 270 人前後で推移することを前提に置き、組織の運営を考える必要がある。
	2 役員の数	必要とする役員の数に対し会員数が少ない。活動量や方法を現状の人数に見合うように改善した上で、役員の人数を見直す必要がある。
	3 活動内容	役員の作業は、本会の組織運営のための業務の件数が一番多く、見直しが必要と考える。今回は単なる件数の比較であり、時間や人数で比較し、負担が大きいもの、無駄なもの、改善の余地があるものを調査する必要がある。
負担	1 会議、打ち合わせ	引き継ぎが十分、予め分担を決める、個人のペースで実行できる活動方法とすることで、負担と減ることが減少するため、更に現状を調査し改善する必要がある。
	2 役員アンケート	負担の感じ方の違いには、活動時間、個の持つレベル（リーダーシップ、PC レベル等）や、任務の引き継ぎシステムに課題があり、誰が担当しても活動できる方法に改善すべきである。
財政	1 収支バランス	学校規模が変更となった H23 年度以降、収入が平均 69 千円不足している。これは収入が学校規模変更前の 68%に減少したことに対し、支出の削減が 60%で、8%足りないことが原因である。支出の見直しは急務である。
	2 資産	周年行事積立金 525 千円、積立金 990 千円を保有するが、大半が学校規模の変更前に積み立てたもので、現状は積立金を捻出できない。2 年後に 40 周年行事を控え、これに充てる予算を適正に決める必要がある。
	3 支出のバランス	運営費と活動費の支出比率は 1 : 3 で、ほぼ一定である。運営費は「事務費、市 P 連関係費、慶弔」の 3 項目が、活動費は「芸術鑑賞会、卒業祝品、広報紙」の 3 項目が、それぞれの 80%以上を占める。支出を改善する場合、これらの見直しが効果的である。

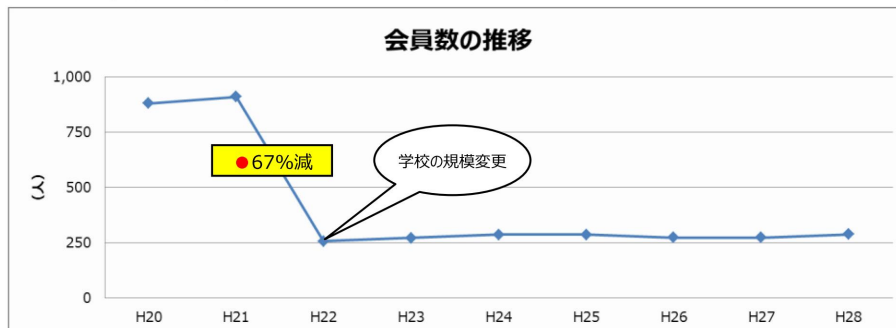
Ⅲ. 現状確認

1. 組織運営

(1) 会員数

会員数はH22年度の学校の規模変更により児童数が●67%減少（←再調査）平均275人で推移している。（図1）

図1 ー会員数の推移



会員の増減は本会がコントロールできない。富岡地区は少子化の進行地域であることを踏まえ、入学単位の会員数は、現状の数で推移するものと予測し、今回の見直しを実行する。●（増減予測は何かで確認したい）

(2) 役員の数

A. 役員数の見直し

これまで役員数はその都度、見直しが実施されており、直近の事例を下表にまとめた。

■ 直近の役員数の見直し

	変更理由と変更箇所	6年間に換算した役員数
H24年度	会員数減少への対応 「学級部と文化部」、「校外部と選考部」をそれぞれ統合	24名削減
H26年度	活動負荷の偏りへの対応 「校外・選考部」を「校外部」と「選考部」に分けた	12名増加
H27年度	市P連対応 副会長1名を増加	1名増加

H24年度に実施した「校外部と選考部の統合」は、作業量が多いという理由でH26年度に再び2つに分けられている。役員数の削減は、同時に活動の作業負荷を低減する必要がある。

またH27年度の副会長の増員は、市P連運営方法の変更に伴い担当副会長が必要となったことに起因する。本会の現状を考えると、役員を増員する場合、「活動量や役員の負担を見直す」「他団体の依頼に対し、できないことは同調しない」なども選択肢として加えて検討することが必要である。

B. 必要な役員数と児童数

「同年度に入学した学年の単位」が6年間に必要とする役員数を算出（下表）し、H28年度の学年別児童数と比べた。（図2）

H28年度2クラスの2～6年生は、各入学単位の学年が平等に「本部役員、地域協力委員を担う」という前提で

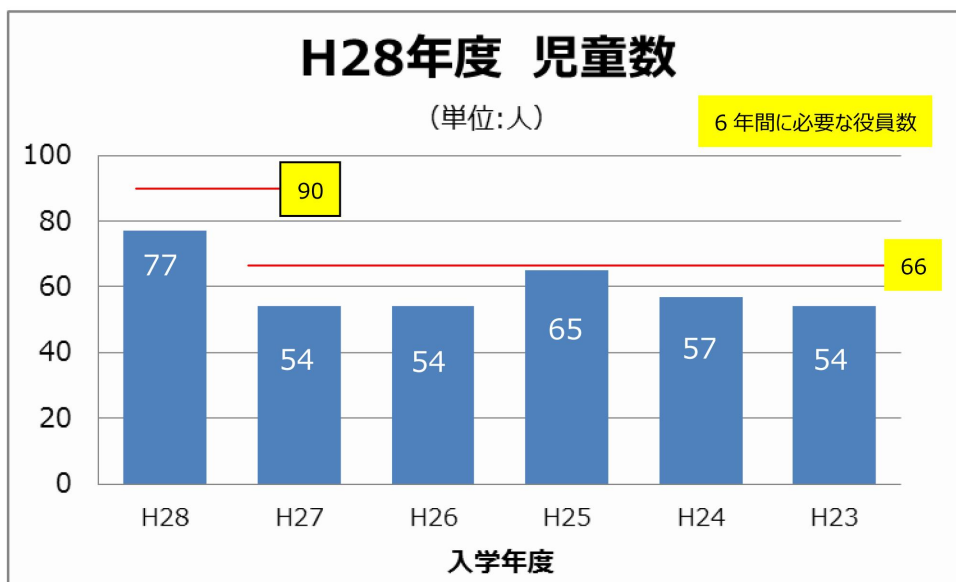
必要な役員数を算出すると、各学年が6年間で66会員、3クラスの1年生は90会員が必要となる。(下表)

図2から、6年間に全会員が役員を担当し、更に「一子一年」以上に役員を担うケースが発生する状態となっていることが分かる。加えて、二子以上を持つ会員にとっては、同じ年に役員を兼務することがないため、役員を担当できる時期の選択範囲が狭く、また、役員となる回数が多いという負担があることが明確である。

■必要な役員の数

	必要人数 (家庭数)			補足
	学級毎	学年毎	6年間	
クラス委員	4 (4)	8 (8)	48 (72)	1学年2クラスの場合、48会員 (1学年3クラスの場合、72会員)
本部役員	—	—	12	6年間で入学単位の学年毎に本部役員全員を選出すると仮定会長1名、副会長5名、書記3名、会計3名
地域協力委員	—	—	6	同上、会計監査2名(内1名は兼防犯)、相談員2名、補導員1名、社会福祉1名
		合計	66 (90)	1学年2クラスの場合、66会員 (1学年3クラスの場合、90会員)

図2 -学年別の児童数と6年間に必要な役員数



会員全員が必ず役員を担うことは「平等」と考えることもできるが、これは組織運営に重点を置いた考えである。会員それぞれの環境や事情には多様な違いがあるため、状況の異なる会員全員に同等の義務を課すことが、「平等」な負担であるとは言い難い。会員内で「役員を担当しなかった」として、不平を漏らしたり、プレッシャーを受けたりすることが少なからず発生していると推測できる。

理想的には、運営の偏りや不正を防止するためのシステムとして、「会員全員に運営に携わる、意見を述べる」といった機会が公平であればよいと考える。前述の「運営側から判断した一子一年の義務」を要請するために労力を使うのではなく、効率よい魅力ある活動によって、積極的な役員参加を促すことに力を入れるべきである。

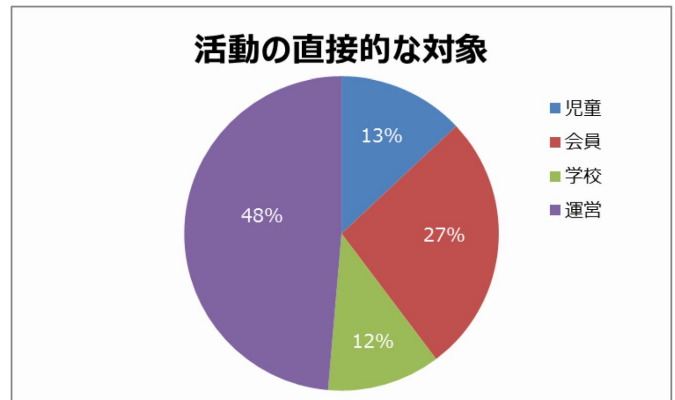
(3) 活動内容

役員別の任務を別紙-1に記載した。

PTA 活動の直接的な対象は、児童 13%、保護者 27%、合計 40%であった。これに比べ、運営にかかわるものの方が 48%と多いことが分かる。(図 3)

直接的なかわりだけが本会の目的でないため問題があるとは言えないが、直接的な活動の比率が小さいことは、一般の会員に本会の活動の意味が理解しづらくなっている要因の一つと推測される。

図 3 -PTA 活動の直接的な対象



2. 負担

(1) 会議、打ち合わせ

PTA 活動量、会員の負担の目安となる会議回数は下表のとおり。

■ 会議の種類

総会	年 1 回（臨時総会の開催実績なし）………固定的
運営委員会、本部役員会	年 9 ～ 1 0 回………固定的
各専門部会	年 5 ～ 1 7 回………部会ごと、また、年度ごとに、変動が見られる

■ 会議毎の回数の推移

[単位：回/年]

	H27 年度	H26 年度	H25 年度	H24 年度	H23 年度
定期総会	1	1	1	1	1
運営委員会	9	9	9	9	9
本部役員会	10	10	9	9	10
学級文化部会	6	5	7	8	学級部 8
					文化部 8
校外部会	4	6	校外選考部	校外選考部	13
選考部会	17	17	16	17	6
広報部会	7	10	10	10	8

会議以外に担当ごとの小規模な打合せや、自宅や学校内での作業、メールを使用しての相互連絡なども実施されており、上表の会議回数以上に P T A 活動に時間を割いている。しかし、郊外部や広報部は、メールの活用（その他、引き継ぎの充実、正副部長の采配（作業分担等））によって、情報を共有し会議回数の削減を実現し、「負担が少ない」という意見が見られた。（次項の表、H23、H24 役員アンケートまとめを参照）

これは同じ仕事量であっても、予め分担を決め、個人のペースで活動や会議に参加できるようにした場合、個人の負担が軽減されたように感じるのではないかと考える。

経験上、運営委員会や本部役員会は、単なる報告に掛ける時間をできるだけ省き、毎年変わる役員の教育、運営や活動に対する議論に時間を割くことも必要と考える。

(2) 役員アンケート

H23 年度から開始した役員アンケート結果から、キーワードを次の表にまとめた。

共通する項目として、学校に行く機会が増え、子供達の学校での顔が見られ先生方や子ども達の様子が分かったなど、活動に参加できた事をよい経験だったという意見もあるが、PTA 活動は負担が大きいという意見もある。

感じ方の違いには、前項で述べた、個々の会員の家庭などの環境や事情の多様な違いに加え、活動の方法（活動時間等）、個の持つレベル（リーダーシップ、PCレベル等）や、任務の引き継ぎシステムに課題があると推測される。また、イレギュラー（子どもの病気、急な打ち合わせ、仕事等）に対して負担を感じるという回答から、PTA 活動には「強制的なイメージ」があると感じられていることも分かる。

■ H23、H24 役員アンケートまとめ

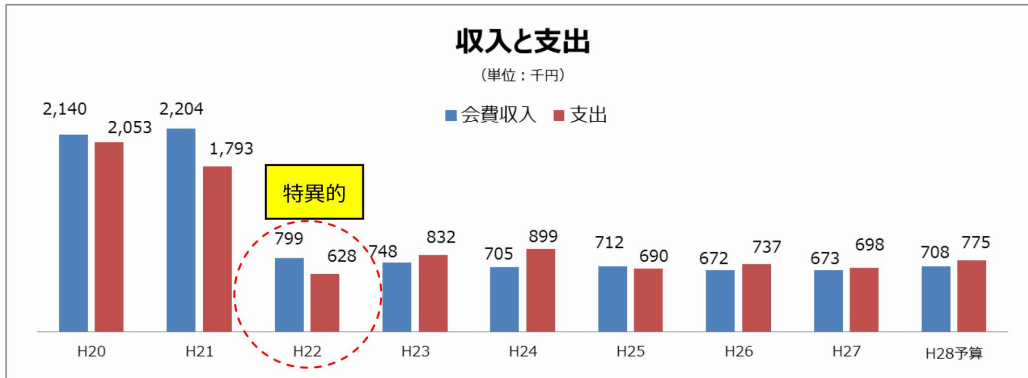
本部役員	よかった	校長先生、教頭先生のお話が間近で聞く、学校全体のことが見えてとても勉強になった、自分・子供の世界が広がる、多くの資料が文書に残されている
	課題	PTA 活動の全体像が分からない、業務内容をできるだけ明文化 会議や行事の出席依頼が多い、他団体の行事に関しては参加者を募るのが大変 書記の仕事がハード
学級文化	よかった	部会が土曜で仕事を休まずに済んだ、連携はメール無駄な集まりなし、部会 6 回/年 出来る人が出来る時に参加、担当制、活動が短期集中 裁量をゆだねられている、学年活動は例年決まっている
	課題	イベント前はバタバタする、学年活動は予備日を設定すべき 引き継ぎ資料、活動記録が不十分
郊外	よかった	部会が土曜で仕事を休まずに済んだ 歴代の方がマニュアルを作成、部内情報の共有、街頭指導報告書、アンケート方式
	課題	「皆で考えて決める」ということが少ない、個人で完結できる仕事なので一つの部として必要か？ 大変良い活動、学校周辺の道路や、危険な時間帯を知ることができた 仕事を持っている方の参加が負担、夕方の見回りやパトロール等、方法選択、個人の事情をどこまで配慮すべきか 6 年生最後の立正当番が、2 / 5 の中学校説明会と重なる、4 月初め街頭指導が空白な時期がある、余裕を持った立哨計画にして調整しやすく、交通安全対策協議会委員の兼務は負担
選考	よかった	他学年のお母様と交流ができた
	課題	選考部は平日活動、幽霊部員ばかり、6 年生は、ほとんど専任の仕事がない、個人差が大きい 募集の人数や役が確定するのが遅かった、役員募集で役割などを伝える、負担の分散が必要 情報共有が最小限にされている、部長・副部長・書記の負担が大きい クラス役員の募集から決定までの期間が短い、同じ時期に選出できるように調整
広報	よかった	働きながらも出来る、自分のペースで時間のある時に個別で動けるので、気持ちの負担が少ない、自宅作業にして平等に分担、学年ごとに役割を決め分担当制での担当 子供の近くで撮影でき、我が子だけでなく学校全体、学校生活を今までより知ることができた 予算内であれば自由にできる活動、意見を出しやすかった
	課題	広報誌作成のマニュアルがない、パソコンに不慣れ 仕事をしているか、していないかで作業量に差、活動日程も多く負担が大 広報誌の目的について選考される前に知る機会、ノウハウを聞けるような場があれば 運動会の撮影の時は、リハーサルにも参加が必要、通年活動など親の活動をもっと紹介

3.財政

(1) 収支バランス

学校の規模変更前後で、財政状態の変化を調査した。H21 年度以前は会費収入が 2,000 千円を超え、毎年、繰越金が多く発生していたが、H22 年度以降は、家庭数の減少により支出が会費収入を上回り、平均 34 千円の不足となった。(下表、図 4、5)

図 4 -単年度の会費収入と支出金額の推移

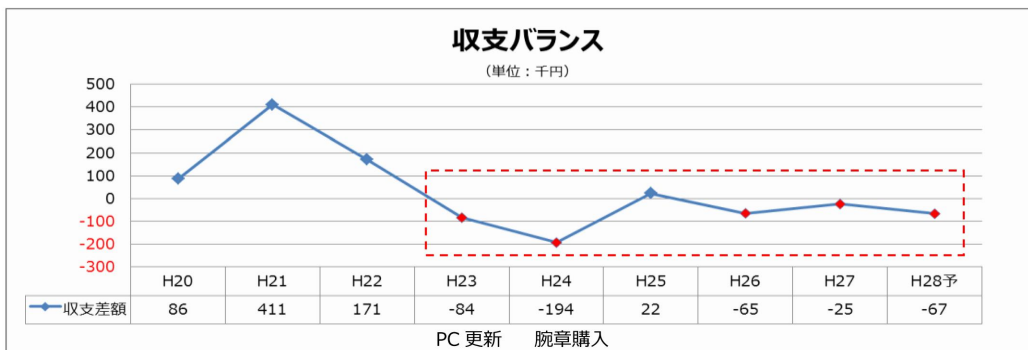


■ 収支金額

[平均金額、単位: 千円、カッコ内: 削減%]

	H21 年度以前		H22 年度以降	
収入	2,172	249	717 (67)	▲34
支出	1,923		751 (61)	

図 5 -会費収入から支出を引いた金額の推移



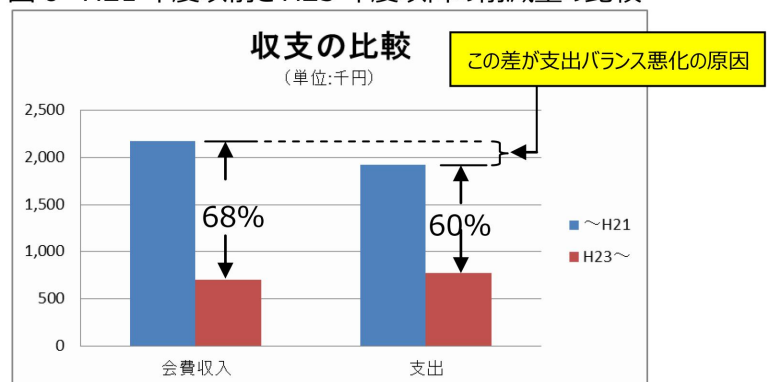
H22 年度は活動費が少ないという特異的な収支であったため(図 4)、H22 年度を今回の分析から外す。上表の収支金額を H23 年度以降に変更すると、不足額は 34 千円から 69 千円に増加する。(下表) 不足の原因は、収入 68%減少に対し、支出が 60%削減に留まっていることが分かった。(図 6)

■ 収支金額

[平均金額、単位: 千円、カッコ内: 削減%]

	H23 年度以降	
収入	703 (68)	▲69
支出	772 (60)	

図 6- H21 年度以前と H23 年度以降の削減量の比較



(2) 資産（周年積立金、積立金、繰越金）

A. 資産の推移

現在 1,553 千円（内、525 千円は周年積立金）の預金を持つ。この金額は、任意団体の資産の目安「運転資金 2～3 期分の資産を保持する」を満たしている。（図 7）

しかし前述のとおり、本会の収支は積立金を捻出できる状態でないこと、周年行事積立金を除いた場合、2 期分の約 1,500 千円を下回る（図 8）ことから、支出額の削減、または、収入の増額などの対策が必要である。

図 7-周年積立金、積立金、繰越金の合計値の推移

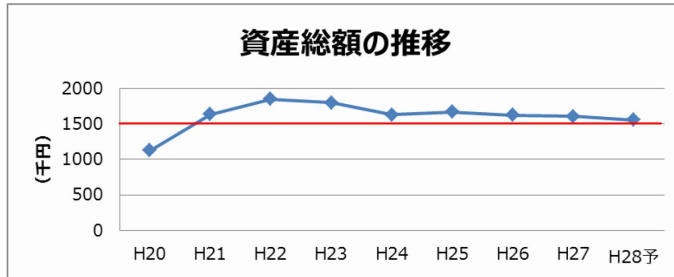
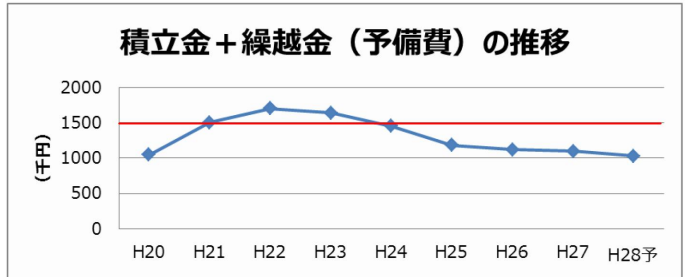
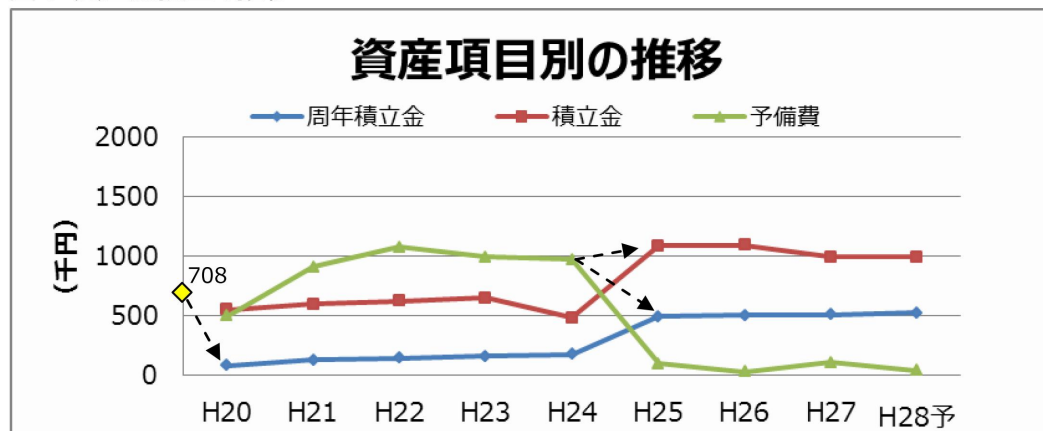


図 8-予備費総額の推移（周年積立金を除く資産）



B. 資産金額の推移

図 9-資産別預金の推移



(a) 周年積立金

H20 年度の 30 周年行事では 629 千円を支出、現在の周年積立金額は 525 千円、このほとんどは H21 年度までに蓄えられたものである。

H21 年度以前は 50 千円を積み立てていたが、H22 年度以降は収支バランスを考慮し 15 千円の積み立てとなり、10 年間で 150 千円となる。収支バランスが現状と同じ仮定すると、2 年後の周年行事に支出する金額はこれを考慮したものとする必要がある。

(b) 積立金

毎年 5 千円を積み立て、繰越金が発生した場合にプールしたり、不足した場合の補てんに使用したりしている。現在の積立金 990 千円のほとんどは、H21 年度までに蓄えられた。

現状の活動を維持するという前提とすると、PC、プリンター、ラミネート、防犯用腕章のような高額な消耗品の更新のための積み立てを予算に織り込む必要がある。

(c) 繰越金（予備費）

H21 年度以前は繰越金が多く発生していたが、H22 年度以降は、繰り越すことはない。H24 年度に H21 年度以前までに繰り越した予備費 973 千円を、周年積立金へ 300 千円、積立金へ 600 千円を振り替えた。

(3) 支出のバランス

A. 運営費と活動費

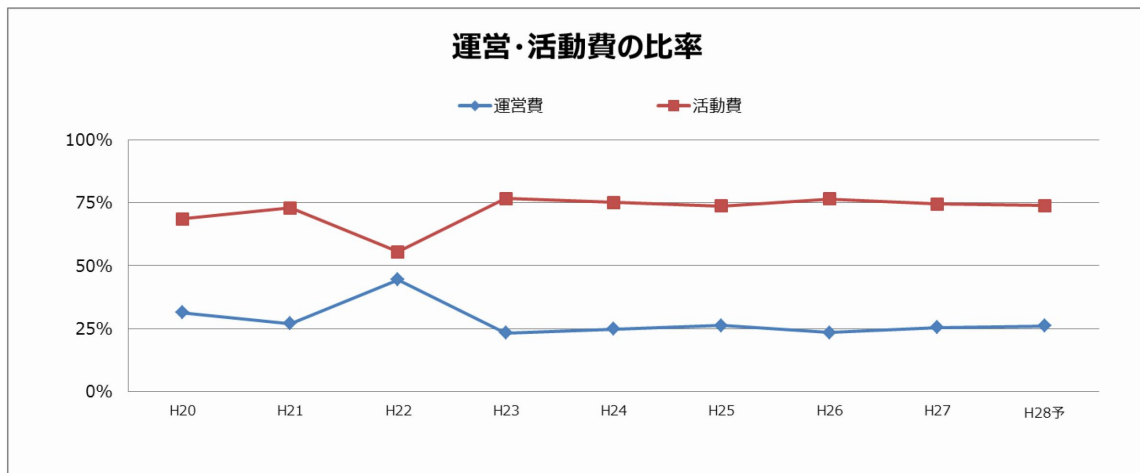
H23 年度以降は、運営費と活動費の比率はほぼ一定であった。支出額 772 千円の構成は、運営費 25%、活動費 75%である。(図 10)

■ 運営費と活動費の比率

[平均金額、単位：千円]

	H21 以前①		H23 以降②		差異 (①-②)
運営費	566	29%	192	25%	374
活動費	1,357	71%	580	75%	777

図 10-運営費と活動費の比率



活動費はH21年度以前に比べ比率が上昇している。費用項目の中に児童数に関係なく固定して支出するものがあるためと推測、以降で分析する。活動内容によって運営・活動費比率は変動するが、他校 PTA の比率も確認する必要がある。

B. 運営費

各費用項目について H21 年度以前との差異を下表、金額の推移を図-11、12 に示す。H23 年度以降の運営費は平均 192 千円、この費用は H21 年以前に比べ 374 千円、66%の削減、支出金額に対する運営費の比率は 4%減少した。運営費はほぼ収入の減少率と同等の削減を達成している。

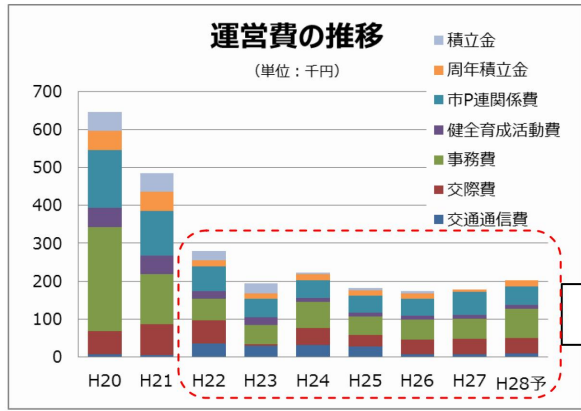
■ 運営費用項目ごとの削減実績

[額：平均、千円、率：%、▲は削減]

費用項目	H23 以降発生額	削減額 ^{註1)}	削減率 ^{註2)}
交通通信費	19	+ 13	+200
交際費	33	▲ 38	▲53
事務費	59	▲144	▲71
健全育成	12	▲ 38	▲77
市P連	49	▲ 86	▲64
周年積立金	13	▲ 37	▲73
積立金	7	▲ 43	▲87
合計	192	▲374	▲66

註1) 各費用項目の H23 以降の平均削減額、註2) 対 H21 年度以前の削減率

図 11-運営費の推移 (H20 年度以降)



■ 運営費用項目の補足

交通・通信費：H22～25 年度はモバイル通信費 30 千円を支出していたが、現在は HP 費用 7 千円に改善、交通費の発生はない。

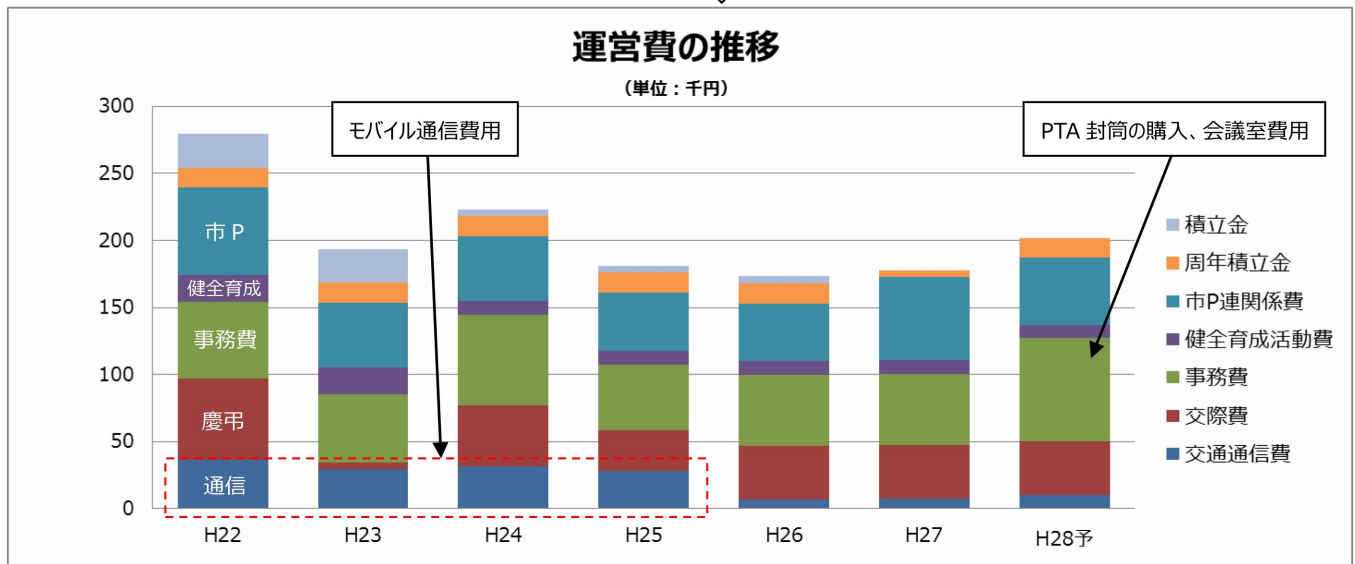
交際費：全額が慶弔・花代であり、削減や予測は不可能。

事務費：大半が印刷費用と推測、内訳を調査する。H28 予の増加は PTA 封筒の購入と会議室費用の計上（22 千円）が原因。

健全育成・市 P 連：会費、懇親会費として支出、22 年度以降は会員の減少に合わせ削減。市 P 連会は増加傾向で H28 予は削減案を織り込んだ。

周年積立金・積立金：H22 年度以降、削減。

図 12-運営費の推移 (H22 年度以降)



ここまで、H23 年度以降の平均金額で分析を実施したが、以降は、H28 年度の実行予算で現状を確認する。

■ H28 年度実行予算

[単位：千円]

	発生型	予算	実行案	内訳
交通・通信費	固定	10	7	HP の維持費、例年多めに計上、実行ベースは 7 千円を見込む
交際費	予測不能	40	40	慶弔、花束代で H27 年度の実績を計上
事務費	変動	77	55	変動：活動量が例年同等と仮定、印刷費用を 53 千円とした 特別：新規項目「会議室借用費用」として 2 千円を予算に計上 削減努力：数年に 1 回の PTA 封筒購入 20 千円を予算に計上したが実行ベースでは削減する
健全育成活動	固定	10	10	会費
市 P 連関係	固定	50	50	削減努力：年度末の懇親会会費を、12 千円削減するとし、予算に計上した
周年積立金	未確立	15	15	年度末に繰り入れるか否かを判断する
積立金	未確立	0	0	同上
合計		202	179	収入予測金額 708 千円に対し、実行ベースでは運営費が 25% を占めると推測（予算ベースでは 29%）

「固定」：固定費、「変動」：活動量等によって変動する費用、「未確立」：発生方法に決まりがない費用

H28 年度実行ベースの運営費をヒストグラムで表すと図 13 となる。3 項目で費用の 82%を占めていることが分かる。この 3 項目の内、交際費（慶弔、花代）は細則に定められているが、費用の発生は本会がコントロールできない項目である。よって、先ず、事務費、市 P 連関係費の見直しは、支出削減に効果が大きいといえる。

図 13- H28 年度運営費の実行案（ヒストグラム）

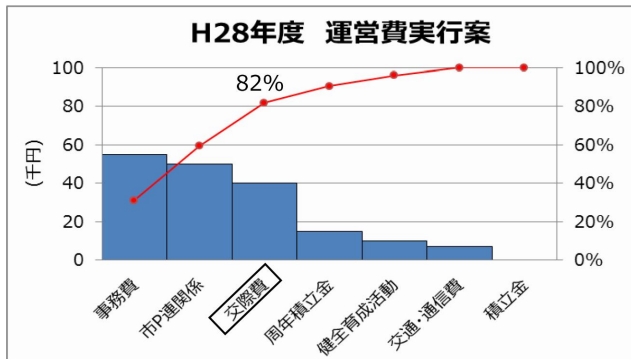
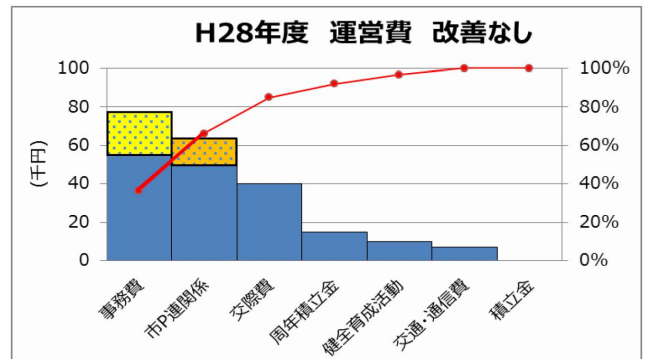


図 14- (参考) H28 年度改善がなかった場合の運営費



改善を計画中、 予算に織り込み済み

C. 活動費

各費用項目についてH21 年度以前との差異を下表に、金額の推移を図-15、16 に示す。H23 年度以降の活動費は平均 580 千円、この費用はH21 年以前に比べ 777 千円、57%削減、支出金額に対する活動費比率は4% 増加した。活動費の削減率 57%は、収入の減少率 68%に比べ少ない状態である。

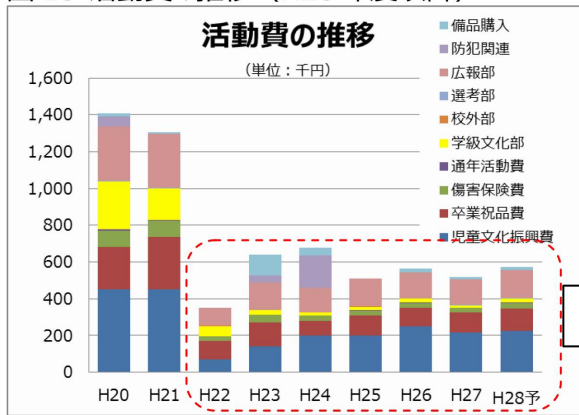
■ 活動費用項目ごとの削減実績

[額：平均、千円、率：%、▲は削減]

費用項目	H23 以降発生額	削減額 ^{註1)}	削減率 ^{註2)}
児童文化振興費	205	▲245	▲54
卒業祝品費	108	▲151	▲58
傷害保険費	29	▲58	▲67
通年活動費	3	▲4	▲58
学級文化部	19	▲196	▲91
校外部	1	▲0	+12
選考部	1	▲4	▲74
広報部	144	▲148	▲51
防犯関連	35	9	+36
備品購入	34	19	+133
合計	580	▲777	▲57

註1) 各費用項目のH23 以降の平均削減額、註2) 対 H21 年度以前の削減率

図 15-活動費の推移 (H20 年度以降)



■ 活動費用項目の補足

児童文化： 芸術鑑賞会費用、内容の質を保つため児童数に関係なく固定した費用が掛かり、支出に占める割合が高くなる。

卒業祝品： 一人あたりの単価が少し上昇している。

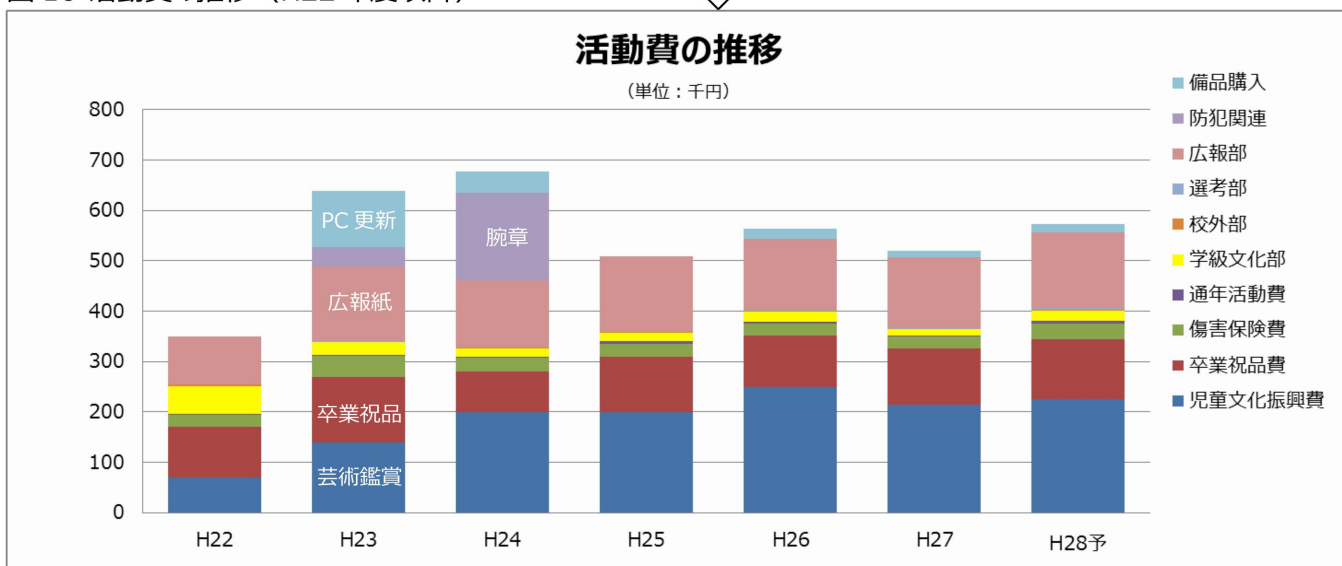
損害保険： PTA 団体保険。

学級文化： ● 費用、学校の規模変更後、活動を縮小した

広報： 「とみおか」発行費用、内容の質を保つため児童数に関係なく固定した費用が掛かり、支出に占める割合が高くなる。

防犯・備品： 各年度に予算外に必要な活動費。

図 16-活動費の推移 (H22 年度以降)



ここまで、H23 年度以降の平均金額で分析を実施したが、以降は、H28 年度の実行予算で現状を確認する。

■ H28 年度実行予算

[単位：千円]

	発生型	予算	実行案	内訳
児童文化振興費	固定	225	225	学校補助 30 千円、250 千円以上が望ましい (27 年度役員)
卒業祝品費	変動	120	110	単価 ● 円/人を卒業記念として贈呈
傷害保険費	変動	30	28	● 会員数によって変動する？
通年活動費	変動	5	5	例年、数千円を補助
学級文化部	変動	20	15	● 予算に何を計上しているか確認
校外部	変動	3	3	USB などの購入
選考部	変動	3	3	同上
広報部	固定	150	75	前期の発行は例年通とおり実施し、後期の発行は取りやめる
防犯関連	変動	0	0	—
備品購入	変動	17	0	● 予算で何を計上しているか再確認
合計		573	464	収入予測金額 708 千円に対し、109 千円削減する実行ベースでは活動費が 66%を占めると推測 (予算ベースでは 81%を占有)

「固定」：固定費、「変動」：活動量等によって変動する費用、●：調査中

H28 年度実行ベースの活動費をヒストグラムで表すと図 17 となる。3 項目で費用の 86%を占めていることが分かる。この 3 項目の内、「芸術鑑賞会」「卒業祝品」は直接児童に関係する項目、「広報部」は本会の広報のための活動費である。

図 17- H28 年度活動費 実行案 (ヒストグラム)

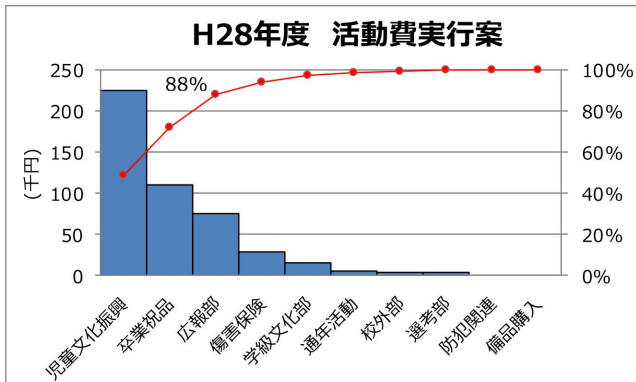
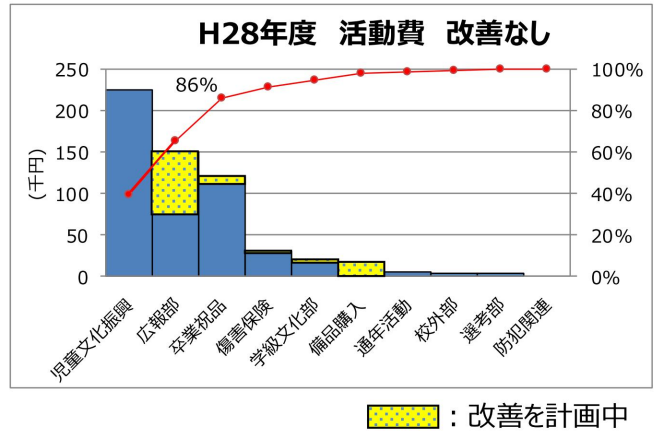


図 18- (参考) H28 年度活動費 予算



児童に直接関わる活動「児童文化振興活動」は、伝統的に外注の演劇を実施している。H21 年度以前は、450 千円を支出していたが、現在は 220 千円である。(これに学校からの補助金 30 千円を加える)

演劇の質や選択肢は金額によって変わり、これらを H21 年度以前に近づけるべく、活動費の削減額を児童文化振興費増額に充てることも考えるべきである。

以上

添付資料 1-1 PTA 活動の直接的な対象 (項目は要確認)

役職	人数	役割	<会則・細則より>			運営上 必要
			活動詳細			
会 長	1	<本会の代表として、会務全般の統轄、指揮、および対外的交渉>				
		本会全体の代表				○
		学校対応 (評議員等)			○	
		学校対応 (行事来賓列席、挨拶：祝辞など)	○	○	○	
		校外対応 (市P連等)				○
		校外対応 (幼・中行事来賓列席)				○
		校外対応 (幼・中との連携)				○
		会員とのコミュニケーション		○		
		運営や活動に関する企画・検討		○		
		メーリングリストの管理				○
		<会則に定められた会議の招集と、総会を除く会長が招集するすべての会議の議長>				
		会議の招集		○		○
		議長				○
		<本部役員会で協議決定処理すべき事項の対応>				
		総会付議事項				○
		運営委員会付議事項				○
		児童および会員の慶弔に関する事項	○	○		○
各委員会、専門部会の連絡調整事項		○		○		
その他本会の運営に必要な事項				○		

役職	人数	役割	<会則・細則より>			運営上 必要
			活動詳細			
副 会 長	5	<会長の補佐として、会長から権限委譲を受けた任務の遂行>				
		<会長に事あるときは、その代理>				
		上記、会長の代理	○	○	○	
		校外対応 (受領文書の管理)				○
		校外対応 (イベントのPR)		○		
		校外対応 (幼・中行事来賓列席)				○
		校外対応 (地域団体への活動協力)	校外対応			○
		校外対応 (市P連)				○
		校外対応 (学校給食センター運営委員)				○
		学校対応 (行事手伝い)			○	
		学校対応 (行事来賓列席)	○		○	
		学校対応 (教頭先生との打合せ)			○	○
		総会等、会議の議事進行				○
		<各委員会、専門部会の連絡調整>				
		専門部会窓口		○		
		地域協力委員窓口		○		
		通年活動窓口		○		
		書記・会計との連携				○
		<本部役員会で協議決定処理すべき事項の対応>				
		総会付議事項				○
運営委員会付議事項				○		
児童および会員の慶弔に関する事項	○	○		○		
各委員会、専門部会の連絡調整事項		○		○		
その他本会の運営に必要な事項				○		

添付資料 1-2 PTA 活動の直接的な対象

役職	人数	役割	＜会則・細則より＞			運営上必要	
			活動詳細				児童
書記	3	＜本会の庶務、事務処理全般＞					
		パソコンの管理					○
		プリンタの管理					○
		転入生セットの管理		○	○		
		役員連絡先名簿の作成と管理			○		○
		運営委員会席札の作成と管理					○
		年度末～総会準備作業					○
		＜各種会議の議事や、本会の活動に関する事項の記録の作成＞					
		会員への発信文書の作成・印刷・配布			○		
		運営委員会 進行表・議事録の作成					○
		「運営委員会だより」の発行			○		
		総会資料の準備・印刷・配布					○
		新学期配布文書の準備・印刷・配布			○		
		その他必要文書の作成と印刷・配布					○
		＜記録、通信、その他の書類の保管と管理＞					
		パソコン内に格納されたデータの整理					○
		文書のファイリングと整理					○
		＜本部役員会で協議決定処理すべき事項の対応＞					
		総会付議事項					○
		運営委員会付議事項					○
		児童および会員の慶弔に関する事項		○	○		○
		各委員会、専門部会の連絡調整事項			○		○
		その他本会の運営に必要な事項					○
＜その他＞							
学校対応（行事手伝い）					○		
校外対応（地域団体への活動協力）					○		

役職	人数	役割	＜会則・細則より＞			運営上必要	
			活動詳細				児童
会計	3	＜総会で決定した予算に基づいた、本会の会計事務全般＞					
		会費の徴収			○		○
		活動費用処理					○
		保険手続き		○	○		
		卒業記念品準備			○		
		＜予算案の立案と、決算報告書の作成＞					
		予算作成、決算報告					○
		＜本会の資産の管理、および必要に応じた会計内容の開示＞					
		備品の管理購入					○
		＜本部役員会で協議決定処理すべき事項の対応＞					
		総会付議事項					○
		運営委員会付議事項					○
		児童および会員の慶弔に関する事項		○	○		○
		各委員会、専門部会の連絡調整事項			○		○
		その他本会の運営に必要な事項					○
		＜その他＞					
		学校対応（行事手伝い）					○
学級・学年監査					○		
校外対応（地域団体への活動協力）					○		
総会受付					○		
総会準備					○		

役職	人数	役割	＜会則・細則より＞			運営上必要	
			活動詳細				児童
会計監査員	2	＜年度の会計監査と、結果の定期総会での報告＞					
		会計監査（年度末）			○		○
		定期総会での監査結果報告			○		○
		＜必要に応じた監査の実施＞					
		年度末の会計監査以外の監査：実績なし					
		＜その他＞					
防犯協会支部長			○			○	

添付資料 1-3 PTA 活動の直接的な対象

役職	人数	役割	<会則・細則より>		関わり			運営上 必要
			活動詳細		児童	会員	学校	
学級文化 部	13	<会員相互の親睦を図り、教職員との連絡調整を行う。>						
		学級会・学年委員会の開催:実績なし			○	○		
		親子学年活動主催 (企画・準備・実行、各学年1回)		○	○	○		
		<学校の教育活動に協力するための活動>						
		学校対応 (行事手伝い)				○		
		芸術鑑賞教室開催 (企画・準備・実行)		○	○	○		
		給食センター見学、試食会実施 (準備・実行)			○			
		学校保険委員会活動協力 (年3回)		○				
		<会員に向けた、知識や教養を深めるための活動>						
		提案型活動(検討・準備・実行)(H27:実績なし)			○			
		<その他>						
		運営委員会の出席・報告 (正副部長のみ)						○
		校外対応 (地域団体への協力)						○

役職	人数	役割	<会則・細則より>		関わり			運営上 必要
			活動詳細		児童	会員	学校	
選考部	13	<本部役員、会計監査員、クラス委員、地域協力委員の候補の選考と選出>						
		クラス委員の選出						○
		クラス委員全体会開催 (含 正副部長選出)						○
		次期本部役員・地域協力委員候補の選考・選出						○
		新現役員顔合わせ会開催						○
		<選考活動を通じ、役員の役割や活動内容を会員へ紹介する活動>						
		役員立候補を募るお手紙の配布 ???			○			
		<その他>						
		運営委員会の出席・報告 (正副部長のみ)						○
		学校対応 (行事手伝い)				○		
		校外対応 (地域団体への協力)						○

役職	人数	役割	<会則・細則より>		関わり			運営上 必要
			活動詳細		児童	会員	学校	
校外部	13	<校外での児童の安全を確保するための活動>						
		交通安全街頭指導案作成、実施 (通年)		○	○			
		パトロール板希望者募集、配布 (年1回)			○			
		防犯腕章の管理 (貸与・保管・回収)			○			
		通学路の案内のお手紙配布 (新入生・転入生向け)		○	○			
		<交通安全や防犯に関連する地域団体と連携した活動>						
		市防犯協会市内一斉パトロール参加		○				○
		交通安全対策協議会委員		○				○
		<その他>						
		運営委員会の出席・報告 (正副部長のみ)						○
		学校対応 (行事手伝い)				○		

役職	人数	役割	<会則・細則より>		関わり			運営上 必要
			活動詳細		児童	会員	学校	
広報部	13	<会員が、本会の運営や活動の理解を深めるための活動>						
		編集会議 (広報誌の企画・検討など)						○
		取材 (学校行事、PTA活動)		○	○	○		
		印刷会社との打合せ						○
		広報「とみおか」発行		○	○			
		<本会の継続的発展につながる情報の発信>:実績なし?						
		<本会活動状況を地域社会へ発信する>						
		広報「とみおか」を校外へ配布?						
		<その他>						
		運営委員会の出席・報告 (正副部長のみ)						○
		学校対応 (行事手伝い)				○		
		校外対応 (地域団体への協力)						○
		市P連広報研修会出席						○

以上

<組織図>

作成:平成28年4月

